Django

Djangoの使い方

Django Djangoとは

- PythonでWebアプリを 制作できるWebフレームワーク
- ・デフォルトでのセキュリティ面が優れている
- ・ InstagramやYouTubeにも 使われているフレームワーク



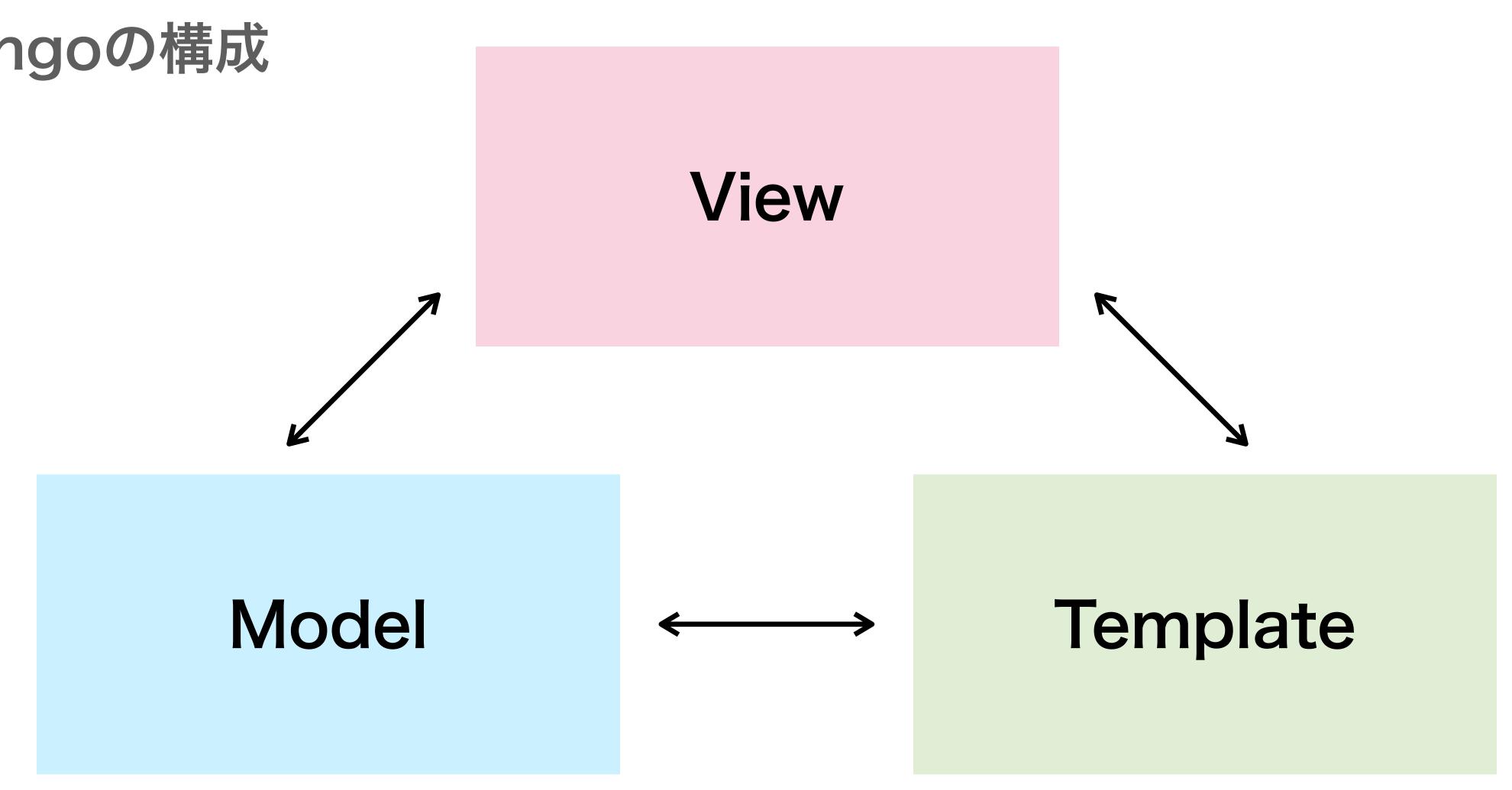
Django Djangoとは

・SSRまで可能な フルスタックフレームワーク



Composition

Djangoの構成



View

ビュー

- Djangoの制御パート
- ・URLごとに実行する関数を変更
- ・views.pyという名称で存在する

Model

モデル

- ・ Djangoのデータ保管パート
- クラスごとにテーブルを管理
- models.pyという名称で存在する

Template

テンプレート

- Djangoのページ表示パート
- ・HTMLなどページのデザインを保存する
- ・templatesというフォルダ内に存在する

Virtual Environment

仮想環境

- パソコン上全てのプロジェクトで同じ環境を使用していると、不要なライブラリを導入していたり、依存関係でエラーが生じることがある
- ・仮想環境を作成することでプロジェクトごとに環境を変えられる
- ・慣例上、仮想環境名は "venv" とすることが多い



Virtual Environment

仮想環境(Windows)

・ 仮想環境の有効化



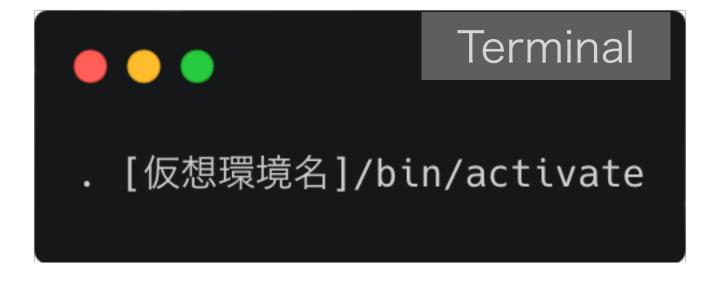
・仮想環境の無効化



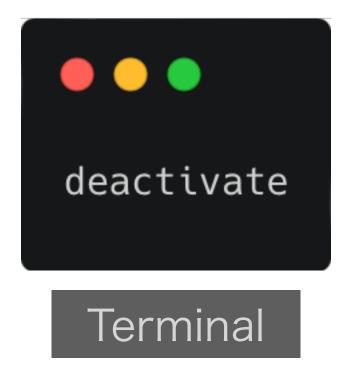
Virtual Environment

仮想環境(Mac/Linux)

・仮想環境の有効化



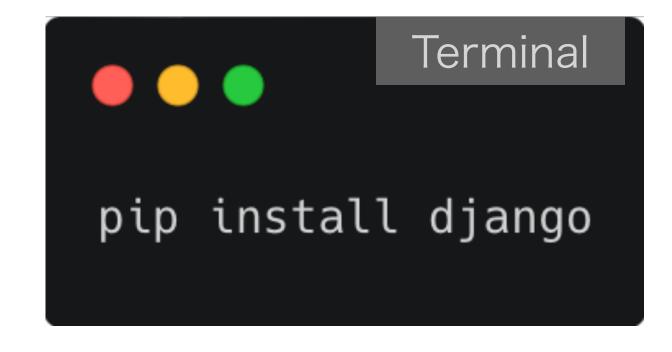
・仮想環境の無効化



Install Django

Djangoのインストール

・仮想環境を有効化した状態で、 下記コマンドを実行し**Djangoをインストール**する



Start Project

プロジェクトのスタート

- Djangoがインストールされた仮想環境内で以下のコマンドを実行し、 Djangoプロジェクトを開始する
- ・保存先フォルダを "." と指定することで カレントディレクトリにプロジェクトを作成できる



Start Project

プロジェクトのスタート

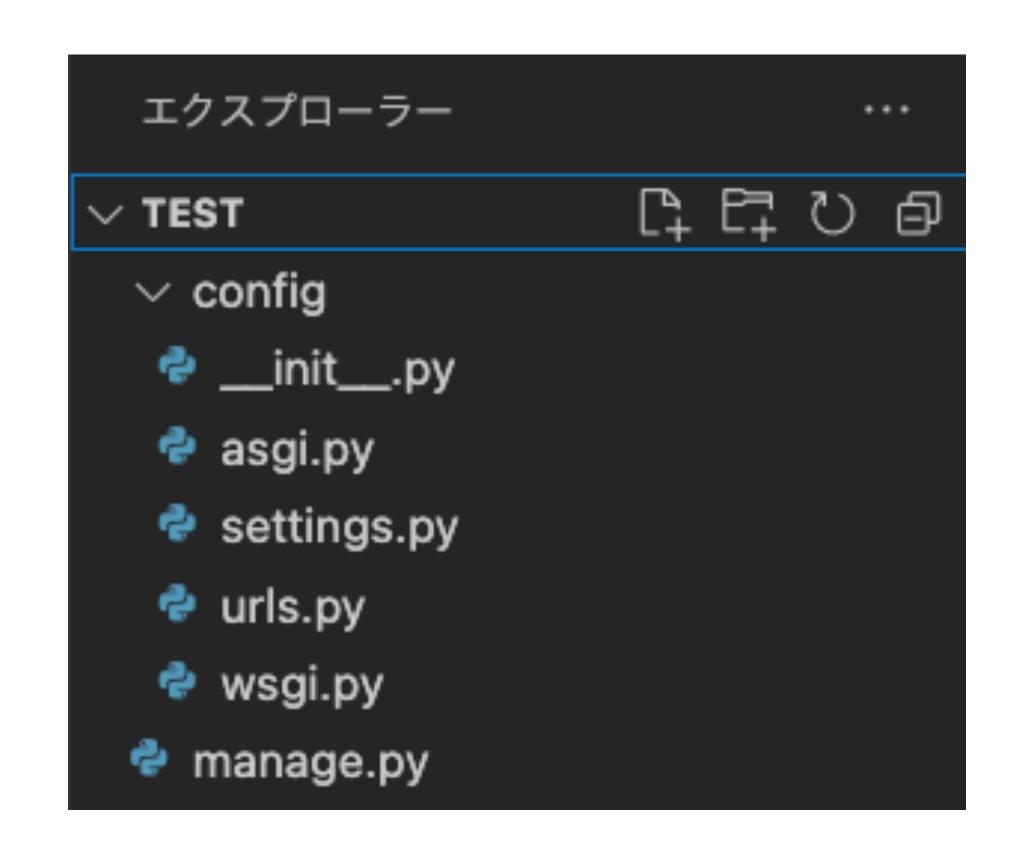
・最近は予めプロジェクト名に対応したフォルダーを作り、 プロジェクト名を "config" として開発することがある



Files composition

ファイル構造

- ・config/settings.py は プロジェクトの設定を行う
- ・config/urls.py は URLルーティングを行う
- manage.py はサーバーホストやdb反映などを行う

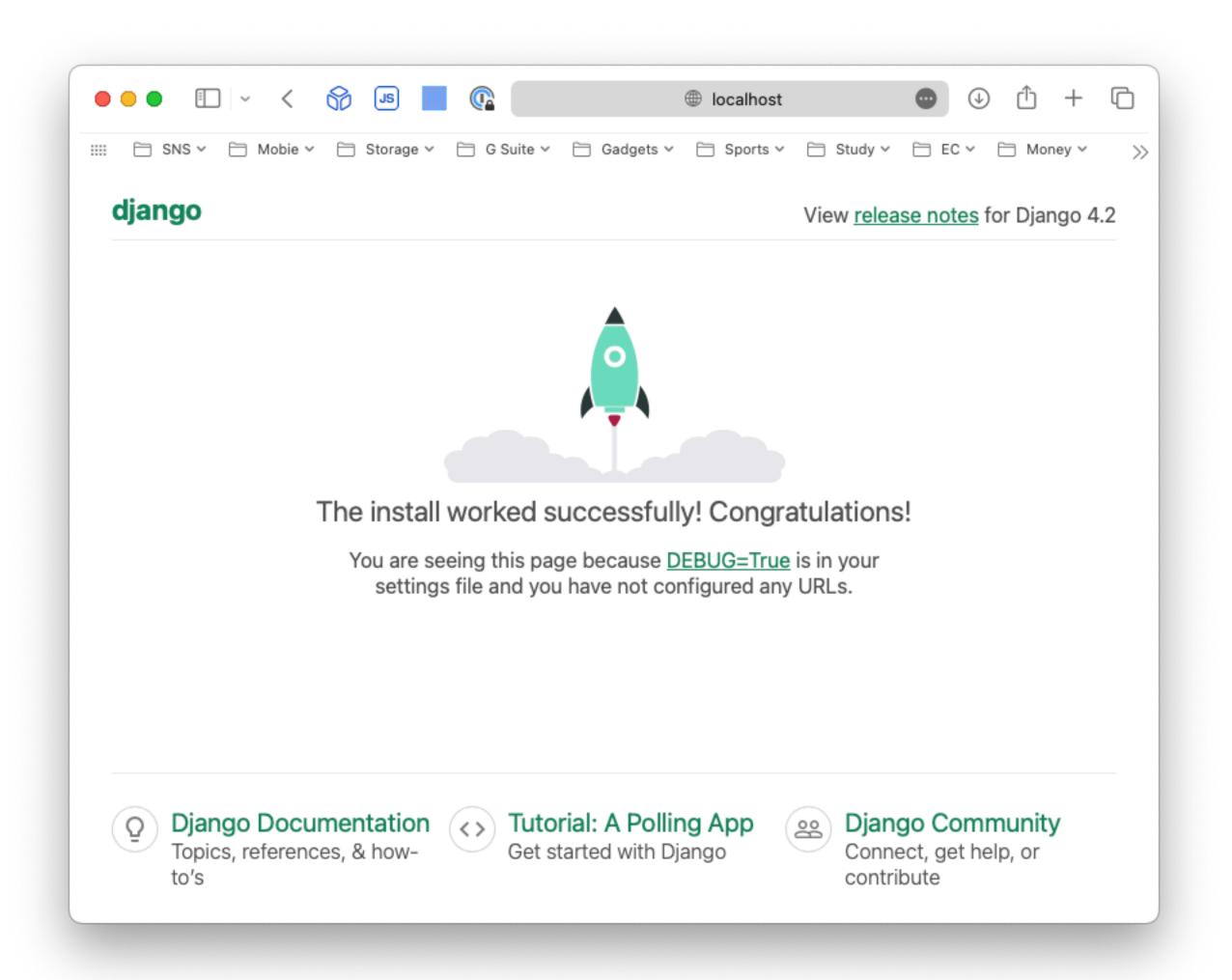


Run server

ローカルサーバーの起動

- 以下のコマンドを実行して、Djangoサーバーを起動する
- 何も指定しない場合はDjangoデフォルトの8000番ポートが解放される



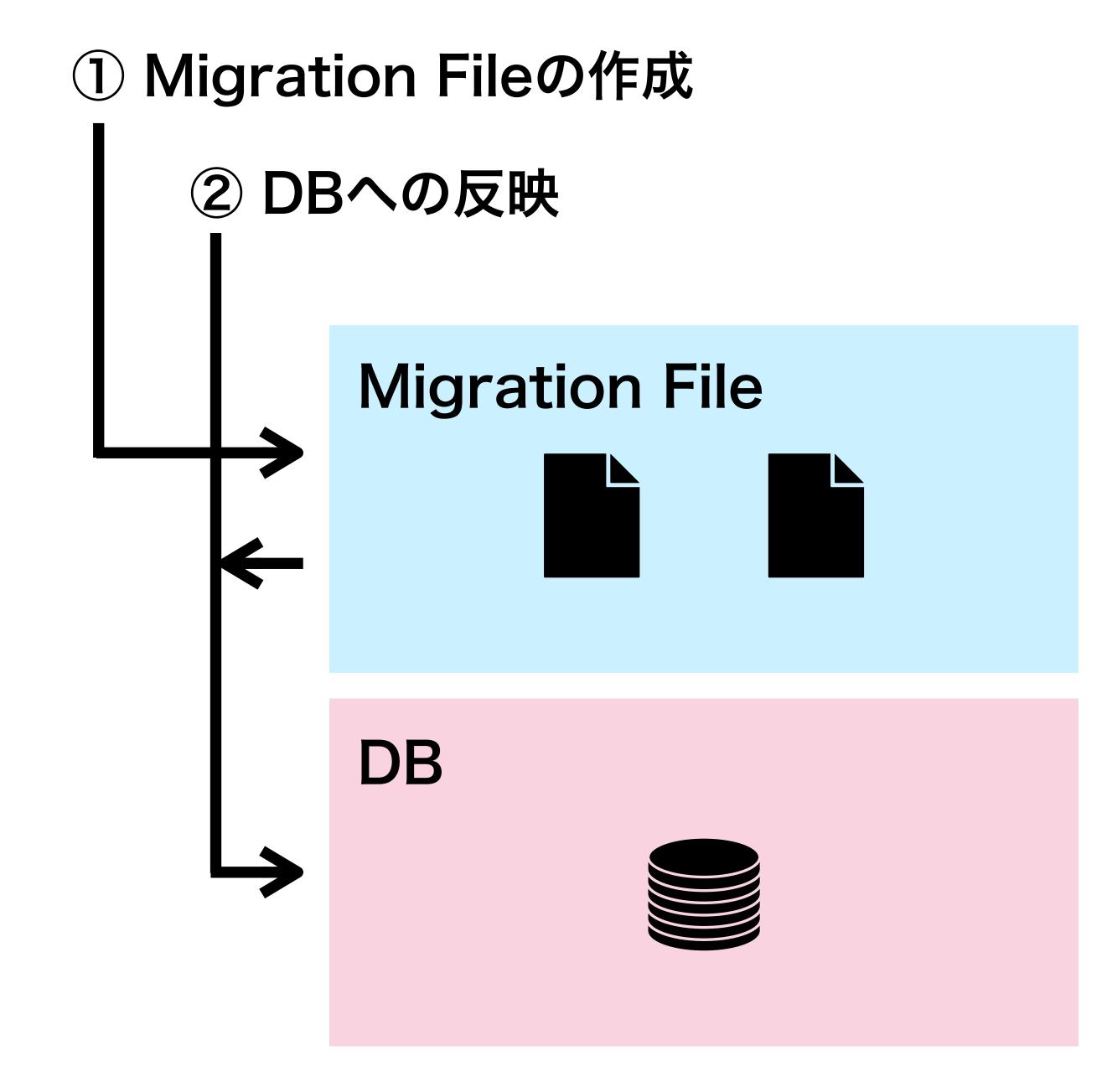


localhost:8000 | Safari

Migrate

マイグレート

- コード内で指定したモデルから DBに反映させる処理
- ・まずはMigrate Fileを作成し、 そのファイルを元に反映する



Migrate

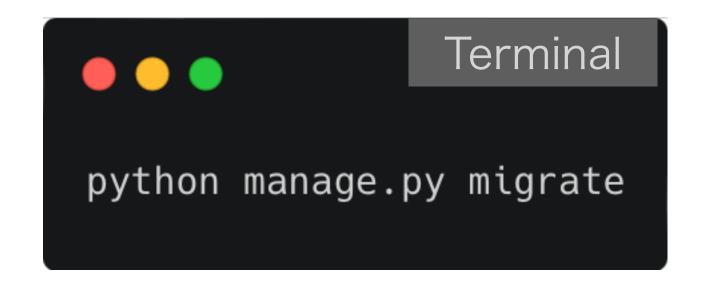
マイグレート

- コード内で指定したモデルから DBに反映させる処理
- ・まずはMigrate Fileを作成し、 そのファイルを元に反映する

① Migration Fileの作成



② DBへの反映



Create Application

アプリケーションの作成

- ・Djangoではプロジェクト内に複数のアプリケーションを作れる
- ・新規アプリケーションを作るには下記コマンドを実行する
- ・例では "tasks" アプリを作成する



Create Application

アプリケーションの作成

・ settings.py 内にある INSTALLED_APPS に 作成したアプリケーションを追加する

```
INSTALLED_APPS = [
    'django.contrib.admin',
    'django.contrib.auth',
    'django.contrib.contenttypes',
    'django.contrib.sessions',
    'django.contrib.messages',
    'django.contrib.staticfiles',
    'tasks', # 追加
]
```

App composition

アプリケーション構造

- ・ 今回はアプリ「tasks」を作成
- tasks/models.py はモデル管理をするファイル
- tasks/views.py はアプリ制御をするファイル

```
エクスプローラー
\sim TEST
 > config

∨ tasks

   > migrations
  __init__.py
  admin.py
  🕏 apps.py
  models.py
  tests.py
  views.py
   manage.py
```

Create secret file

非公開ファイルを作成する

- ・ settings.pyに記載された公開してはいけない情報を非公開にする
- ・暗号化キーなどを非公開にし、安全性を高める
- GitHubから追加できるPythonデフォルトの.gitignoreより、
 Djangoにおいてlocal_settings.pyを非公開ファイルにすることが推奨
- ・この操作はGitにコミットする前に行う

Details secret file

非公開ファイルの内容

- ・以下の情報を非公開として扱うことが推奨される
 - BASE_DIR
 - SECRET_KEY
 - INSTALLED_APPS

- DATABASES
- ALLOWED_HOSTS

Change settings file

設定ファイルの変更

・非公開ファイルに設定した項目を削除し、 以下のように**非公開ファイルを読み込む**

```
config/settings.py

from .local_settings import *
```

Change URL Route

ルーティングの変更

デフォルトのプロジェクトでのルーティングではなく、 アプリごとに切り替える

```
config/urls.py

from django.urls import path, include

url_patterns = [
  path("", include("tasks.urls")),
]
```

```
tasks/urls.py

from django.urls import path
from . import views

url_patterns = [
  path("", views.[関数名]),
]
```

Stop server

ローカルサーバーの停止

・作業終了時にはターミナル上でMac OS/Windows両OSとも "control + c" を押して、サーバーを停止する

